



リリースノート、主な追加機能説明
Ver. 2.4.1

2024年2月13日

ペンギンシステム株式会社



「救トレ[®]」はペンギンシステム株式会社の登録商標です

目次

1. リリースノート	2
2. 主な追加機能説明.....	5
(1) シナリオ表示順変更機能 (Ver.1.0.5 以降)	5
(2) Wi-Fi チャンネルの選択機能 (Ver.1.1.0 以降)	6
(3) 任意画像を登録・呼出表示する機能 (Ver.2.0.0 以降)	7
(4) 「シナリオデータの取り出し・取り込み」機能 (Ver.2.0.0 以降)	10
(5) 電源 OFF 機能 (Ver.2.0.0 以降).....	11
(6) 除細動器(電気ショック)機能 (Ver.2.2.0 以降)	12
(7) 血圧を任意のタイミングで反映するボタン機能 (Ver.2.3.0 以降).....	13
(8) 血圧表記として上下測定不能「-/-」指定をする (Ver.2.3.2 以降).....	14
(9) シナリオを複製するとシナリオ内のシーンも同時に複製 (Ver.2.4.0 以降).....	16

1. リリースノート

機能追加にご注目いただくために、機能修正・機能改善は薄字にしています。

Version	発行日	内容
1.0.0	2017/7/15	初版
1.0.1	2017/7/29	機能修正(波形に関する微細な修正)
1.0.2	2017/8/8	機能追加(HDMI 接続機能、共通設定機能) 機能改善(数値変化表現)
1.0.3	2017/9/6	機能追加(バイタル値上下調整ボタン、共通設定(点滅・警告音、波形色の変更機能))
1.0.4	2017/10/27	機能追加(テレビ向け HDMI 映像出力設定機能)
1.0.5	2017/11/10	機能追加(警報音ミュート機能、シナリオ表示順変更機能)
1.0.6	2018/6/7	機能改善(ミュートアイコン改善、設定画面へのリンクを中央に移動、Asystole 波形改善)
1.0.7	2018/9/10	機能改善(コントローラー画面のインタフェースを改良)
1.0.8	2018/12/13	機能改善(血圧表記の数字を大きくしました)

1.1.0	2019/3/28	機能追加(設定画面でWi-Fiチャンネルを選択可能としました)
1.1.1	2019/5/28	機能修正(Ver.1.1.0における起動時の問題を解決)
2.0.0	2021/3/5	機能追加(任意画像を登録・呼出表示する機能)、「シナリオデータの取り出し・取り込み」機能(複数台利用の方に便利な機能です)、電源OFFボタン
2.0.1	2021/3/9	機能改善(モニター画面の血圧表記数字をより大きくしました)
2.1.0	2021/3/18	機能追加(「画像の削除」機能を追加) 機能改善(「シナリオの取り込み」後のメッセージを改善、画像アップロード完了時のメッセージを改善)
2.1.1	2021/4/15	機能改善(心電図波形の表示順を改善。任意画像表示機能の動作を改善)
2.2.0	2021/6/8	機能追加(除細動器(電気ショック)機能を追加)
2.2.1	2021/6/11	機能改善(一部の環境で除細動器(電気ショック)機能が正常に使えない問題を解消)
2.3.0	2021/9/16	機能追加(血圧を任意のタイミングで反映するボタンの追加。バイタル値の変化秒数の設定機能を追加)
2.3.1	2021/9/28	機能改善(バイタル値の変化秒数の設定機能に関する不具合の修正)
2.3.2	2022/4/26	機能追加(血圧表記として上下測定不能「-/-」指定を追加) 機能改善(VF状態から波形選択でNormalに変更する条件で発生していた不具合の修正)
2.4.0	2022/9/13	機能追加(シナリオ複製時にシーンも複製する機能を追加)

2.4.1	2022/10/25	機能改善（画面表示において不要スクロールが発生しないように改修） 機能改善（一部のスマートフォンにおいて効果音アイコンをタップしても効果音一覧が表示されない現象への対応）
-------	------------	--

2. 主な追加機能説明

(1) シナリオ表示順変更機能 (Ver.1.0.5 以降)

トップ画面右上の「設定」から「シナリオ追加・編集」に進んで下さい。以下の画面になります。シナリオの表示順は画面最も左の三本線アイコン(赤丸の箇所)をつかんで上下にドラッグアンドドロップすることで変更可能です。



(2) Wi-Fi チャンネルの選択機能 (Ver.1.1.0 以降)

トップ画面右上の「設定」から「無線(Wi-Fi 設定)」に進んで下さい。以下の画面になります。

当該「救トレ ポータブル」が使う Wi-Fi チャンネルを 3つの選択肢から選択することができます。

本機能は通常時は使う必要はありません。複数の「救トレ ポータブル」をお使いの場合で、混線が心配な場合のみお使い下さい。それぞれの「救トレ ポータブル」を別のチャンネルを使うように設定するとよいでしょう。

[< 戻る](#)

ネットワーク名 [qtrain0394]



救トレのWi-Fiチャンネルの設定を行います。複数台利用時などに、それぞれ別のチャンネルを利用することで、お互いの干渉を防ぐことができます。

2.4GHz帯を使用する

周波数帯 チャンネル

1. 22MHz channel=1
2. 22MHz channel=6
3. 22MHz channel=11

設定を変更する

救トレでは5GHz帯は使用できません。

周波数帯 チャンネル

1. W52 channel=36 (屋外不可(2020年以降可能))
2. W52 channel=40 (屋外不可(2020年以降可能))
3. W52 channel=44 (屋外不可(2020年以降可能))
4. W52 channel=48 (屋外不可(2020年以降可能))
5. W56 channel=100 (屋外可能)
6. W56 channel=104 (屋外可能)

設定を変更する

(3) 任意画像を登録・呼出表示する機能 (Ver.2.0.0 以降)

予め設定しておいた任意の画像をバイタルサイン値の上に表示することができます。

(ア)任意画像の登録

任意の画像を 12 個までプリセットし、トレーニング時に呼び出して『モニター』上に表示させることができます。まずトップ画面右上の「設定」から「画像設定」に進んで下さい。以下の画面になります。3 ステップで画像をセットします。

ステップ 1. 画像置き場を選択

まず 12 個の画像置き場のうち、どこに画像を置くかを選択します。また、不要な画像は「画像削除」ボタンから削除下さい。

ステップ 2. 配置する画像を選択

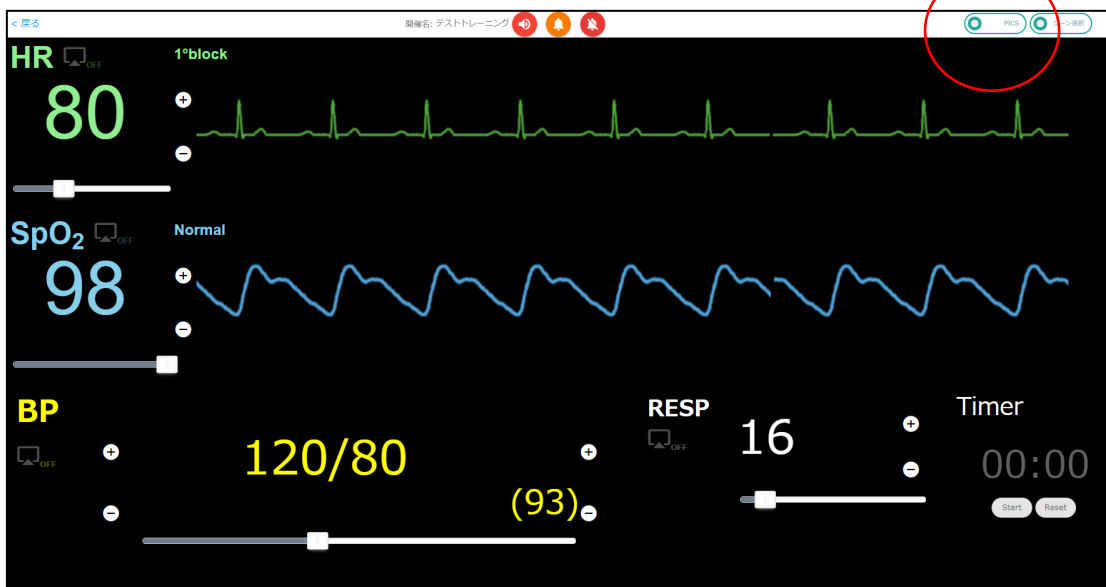
「Browse」ボタンから配置する画像を選択ください。対応しているファイル形式は png と jpg(jpeg)です。

ステップ 3. 配置

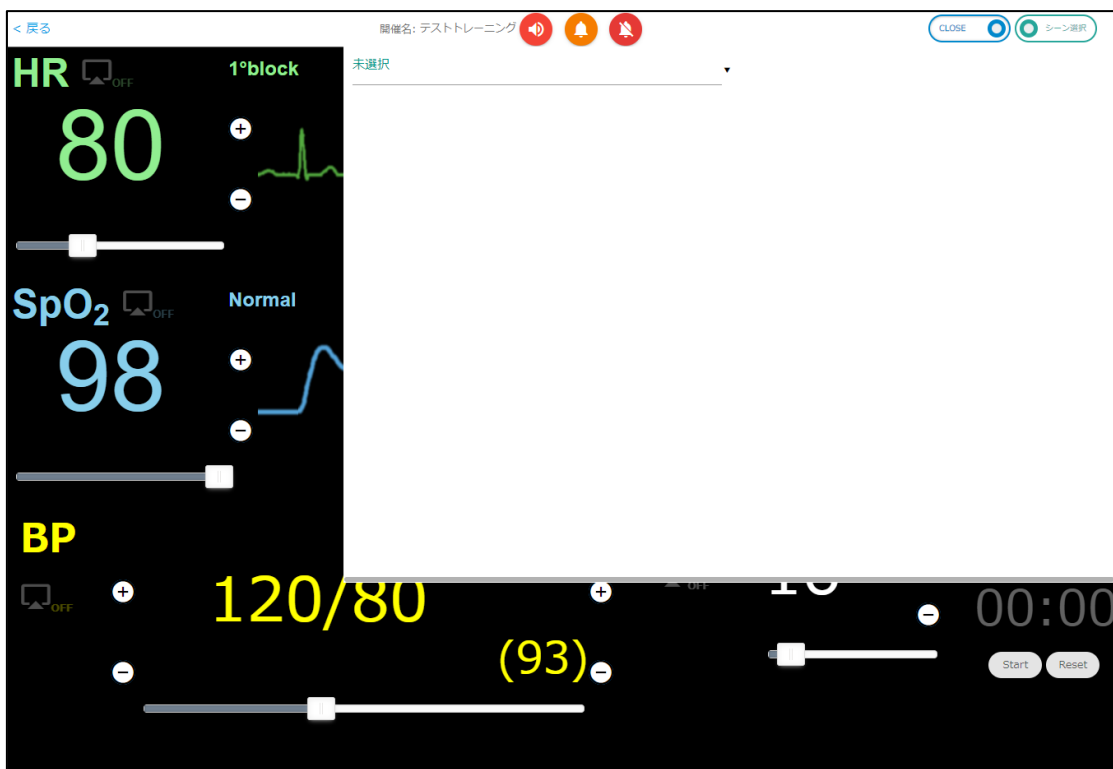
「Upload」ボタンを押して、画像をアップロード(配置)します。ファイルサイズは 3MB が上限です。

(イ)任意画像の呼出表示

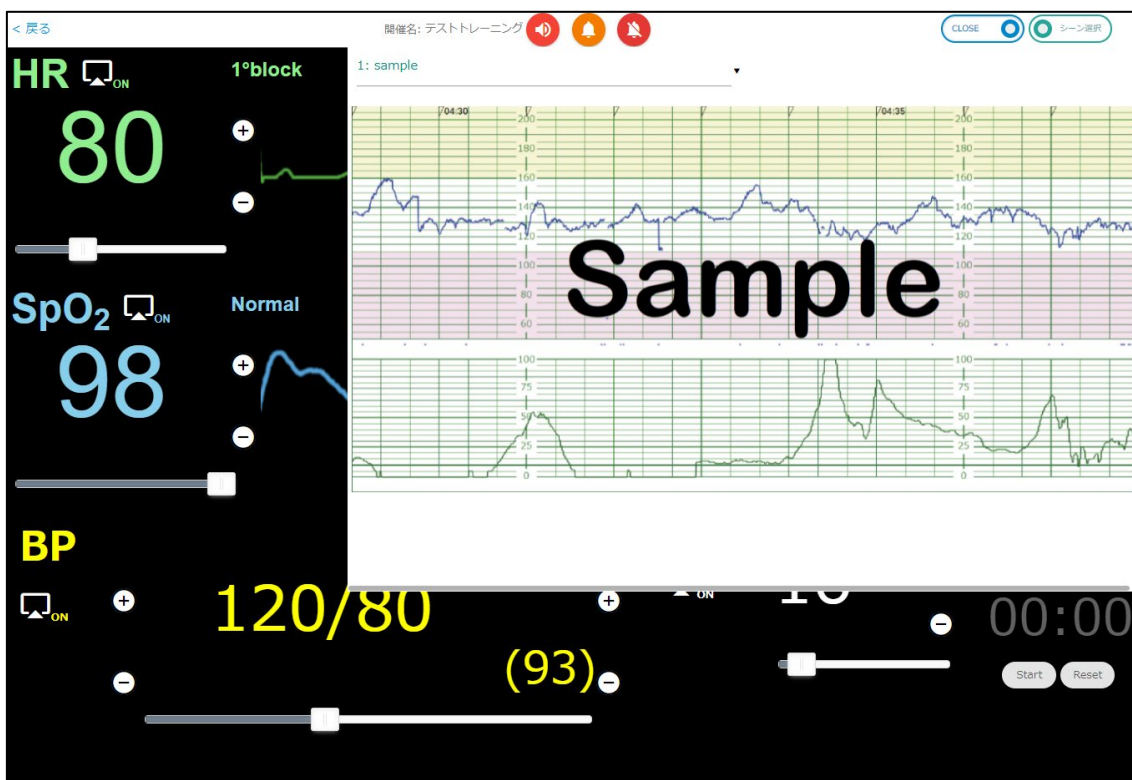
『コントローラー』画面の右上、右から2番目の「PICS」ボタン(赤丸の箇所)を押して下さい。



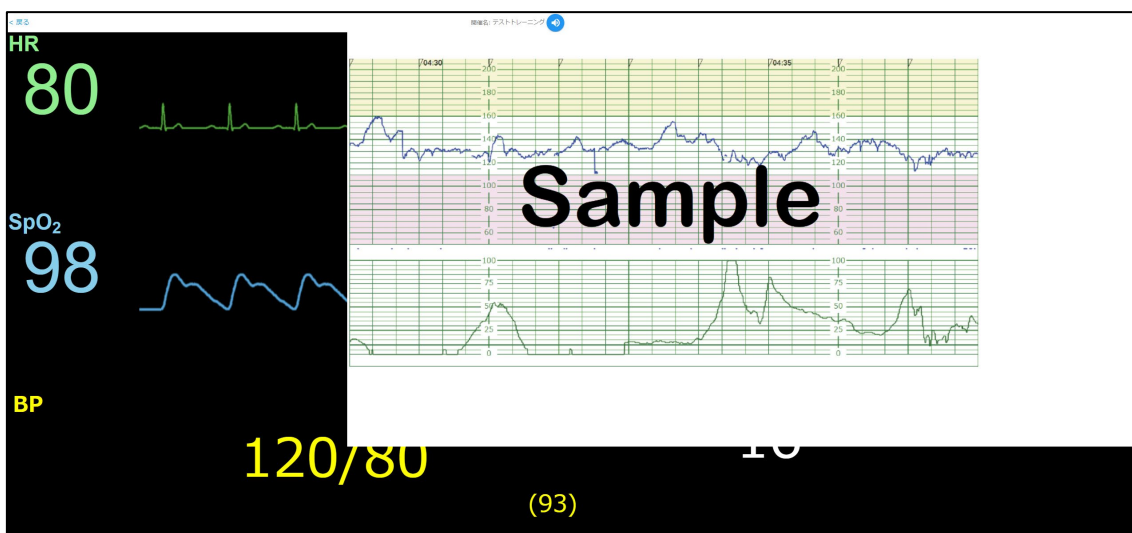
下のように表示されます。ここで「未選択 ▼」となっている箇所から画像を選択します。



『コントローラー』側で例えば以下のような画像を選んだとします。



『モニター』側では以下のように表示されます。



X線写真や何かしら患者の様子を表すような写真など任意の画像を設定しておいて、トレーニングの状況に合わせて説明をしたいときなど任意のタイミングで、トレーナー(インストラクター)が使うのに便利な機能です。

(4) 「シナリオデータの取り出し・取り込み」機能 (Ver.2.0.0 以降)

トップ画面右上の「設定」から「シナリオデータの取り出し・取り込み」に進んで下さい。以下の画面になります。

ネットワーク名[qtrain0394]

[< 戻る](#)

【シナリオデータの取り出し】

シナリオデータを取り出して保存します（人間の読める形式ではありません）。バックアップ、別の「救トレ ポータブル」へのシナリオ複製の目的にもお使いいただけます。

取り出し

【シナリオデータの取り込み】

「シナリオデータの取り出し」で保存したファイルを「救トレ ポータブル」に取り込みます。バックアップからのリストアとしてもお使いいただけます。また、別の「救トレ ポータブル」からのシナリオ複製の目的にもお使いいただけます。**ただし、シナリオデータは上書きされますので、その点ご了解の上、ご自身の責任のもとに行ってください。**

ファイル選択

import scenarios

取り込み



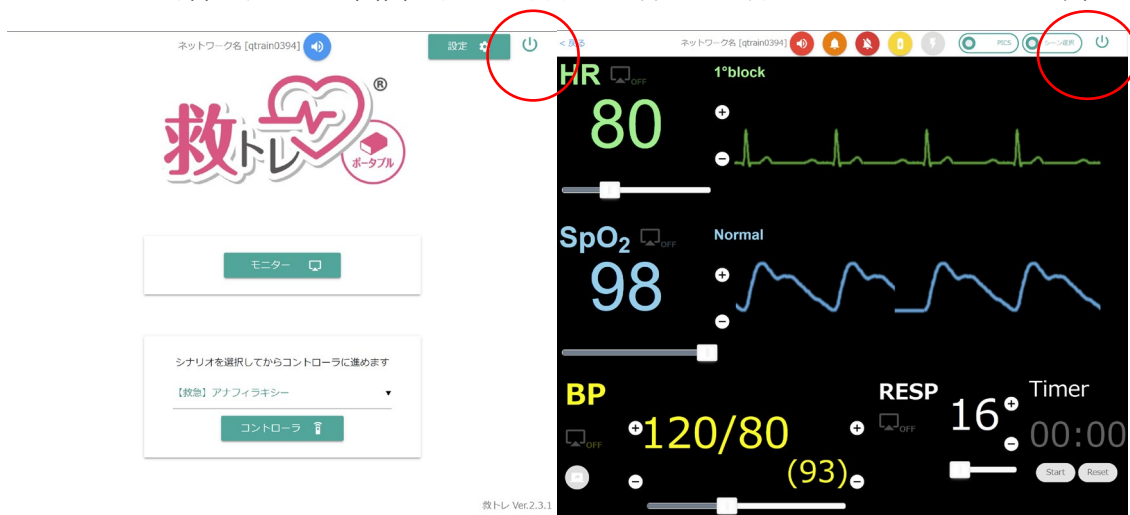
「取り出し」をすることで、ご自身のパソコン内にシナリオをバックアップすることができます。また、「取り込み」をすることでバックアップしたシナリオを「救トレ ポータブル」に取り込むことができます。（ただしシナリオデータは上書きされますのでその点ご了解のうえ、本機能をお使い下さい）

また、複数台の「救トレ ポータブル」をお使いの場合に、オリジナルシナリオを作成する場合などは、1台の「救トレ ポータブル」でシナリオを作成したのち、「シナリオデータの取り出し」を行い、ほかの「救トレ ポータブル」では「シナリオデータの取り込み」をおこなうことで、シナリオのコピー用途にもお使いいただけます。（ただしシナリオデータは全てが上書きされますのでその点ご了解のうえ、本機能をお使い下さい）

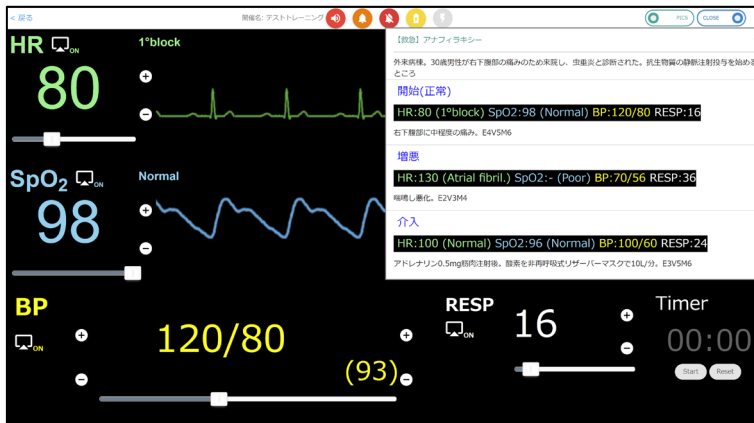
(5) 電源 OFF 機能 (Ver.2.0.0 以降)

トップ画面、及びコントローラー画面の右上に電源 OFF ボタンがあります(赤丸の箇所)。救トレポータブル使用終了時には、いきなり電源コードを抜かず、電源 OFF ボタンから電源 OFF にしてから電源コードを抜くことを推奨します。

なお、スマートフォンなど小さな画面のデバイスですと、電源ボタンが表示されません。タブレット、パソコン等の画面から電源 OFF を実施ください(「モニター」にお使いだった場合も、トップ画面に戻って頂ければ右上に電源 OFF ボタンがございます)



(6) 除細動器(電気ショック)機能 (Ver.2.2.0以降)



コントローラー画面上部に2つある除細動器(電気ショック)関係アイコンの用途は以下の通りです。



左側の「充電」アイコンを押しますと除細動器への充電音が流れます。

電気ショックが可能になりますと、「充電」アイコンが灰色に変わり、右側の「ショック」ボタンが黄色に点滅します。

なお、「充電中」を示す「ブブブブ…」音、「充電完了」を示す「ブー—」音が流れているあいだはバイタルサイン音が小さくなりますが、トレーニング受講者が充電関連音をしっかり認識するために、音量のバランスを調整しているものです。

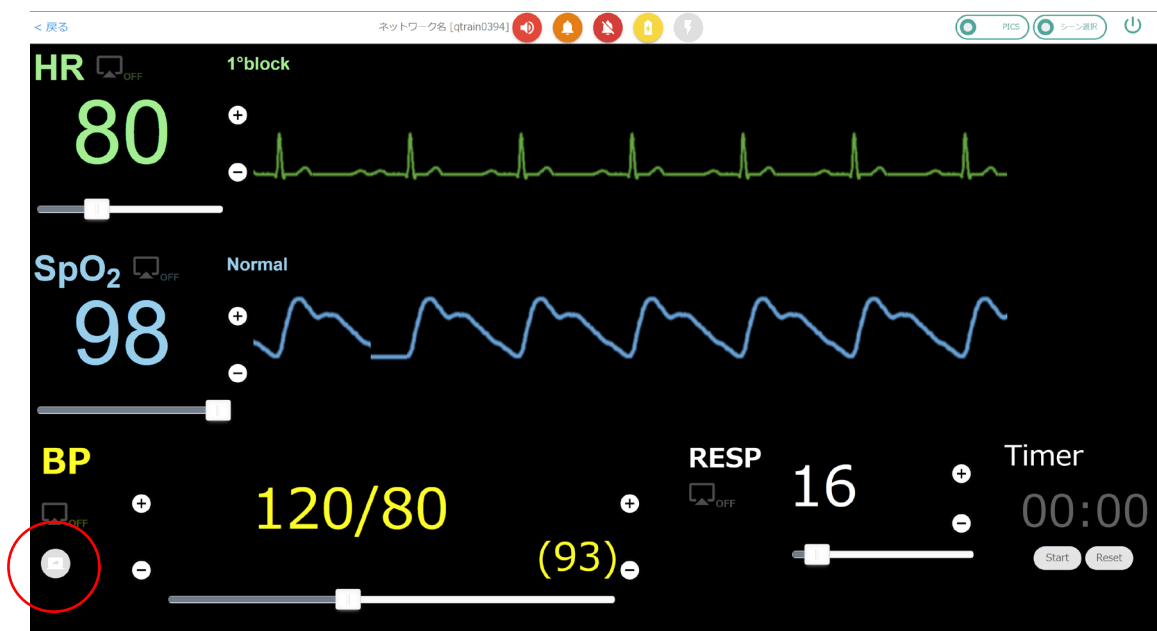


右側の「ショック」ボタンを押すと、電気ショック音が流れます。波形にもそれに伴う乱れが生じます。

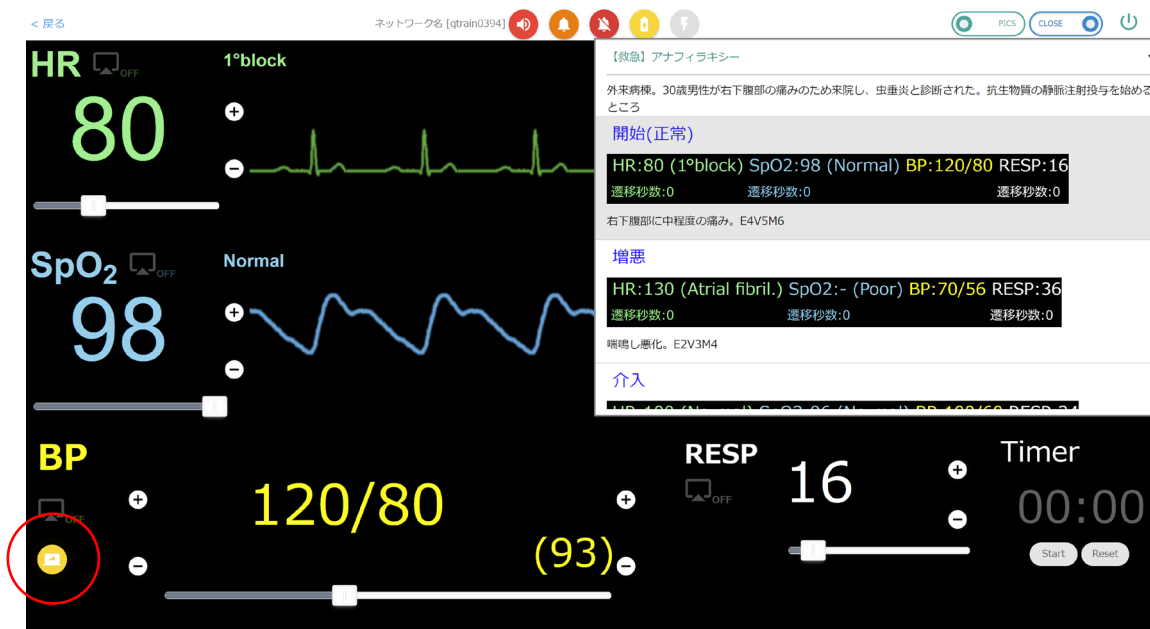
なお、この除細動器(電気ショック)関係アイコン2つは『モニター』側にもありますので、『モニター』に利用する機器がタッチパネル式であれば、受講者自身が押すことも可能です

(7) 血圧を任意のタイミングで反映するボタン機能 (Ver.2.3.0 以降)

コントローラー画面の左下「BP」の下方に「血圧変更」ボタンがあります(赤丸の箇所)。



コントローラー側で「シナリオ」内の「シーン」としてプリセットしておいたバイタルサイン値のセットにワンタップで切り替えられるのが「救トレ」の便利なところですが、血圧のみはワンタップした際にもモニター画面側では変化を起こしません。その代わりに当該ボタンが以下のように(赤丸の箇所)、黄色になって点滅します。



トレーニング受講者が明に「血圧を測る」という意思表示あるいは動作をした際に当該ボタンを押すことで、血圧がプリセットした値に変化します。

(8) 血圧表記として上下測定不能「-/-」指定をする (Ver.2.3.2 以降)

血圧が上下(収縮期血圧・拡張期血圧)ともに測定不能だという状態を指定することが可能です。

シナリオとして予め指定しておくこともできますし、コントローラー画面にて指定することも可能です。以下両方の方法をお示しします。

(ア)シナリオとして指定する方法

シーン設定

シーン名
血圧測定不能

説明

HR	SpO2	BP	RESP
100	96		20
遷移秒数(0~600)	遷移秒数(0~600)		遷移秒数(0~600)

Normal - NSR Normal

キャンセル 保存

シナリオ内の「シーン」としてバイタルサイン値セットを登録する際、血圧(BP)の値として数値パッド内の「-」を入力し、「OK」にて確定ください。以下の表記となります。

シーン設定

シーン名
血圧測定不能

説明

HR	SpO2	BP	RESP
100	96	-	20
遷移秒数(0~600)	遷移秒数(0~600)		遷移秒数(0~600)

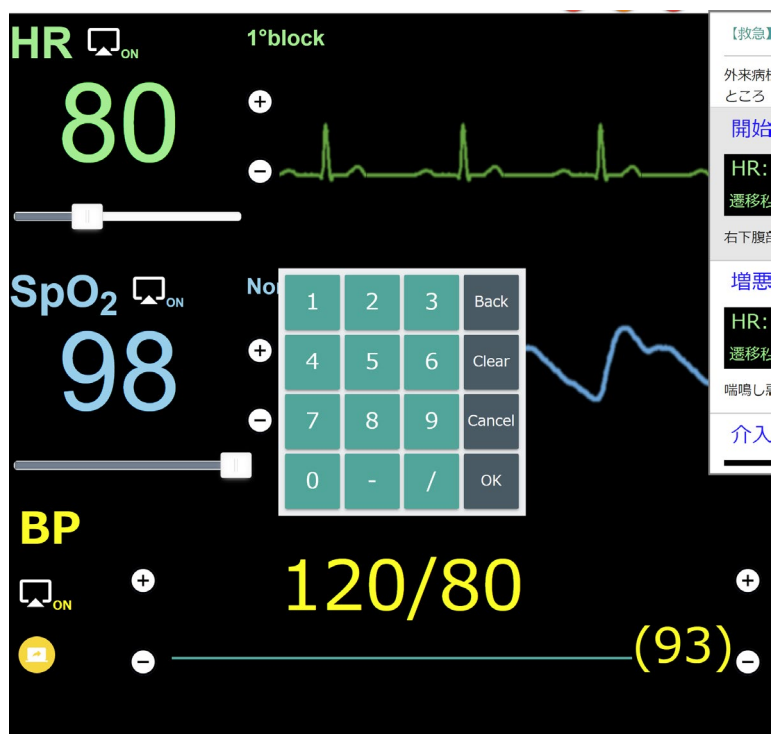
Normal - NSR Normal

キャンセル 保存

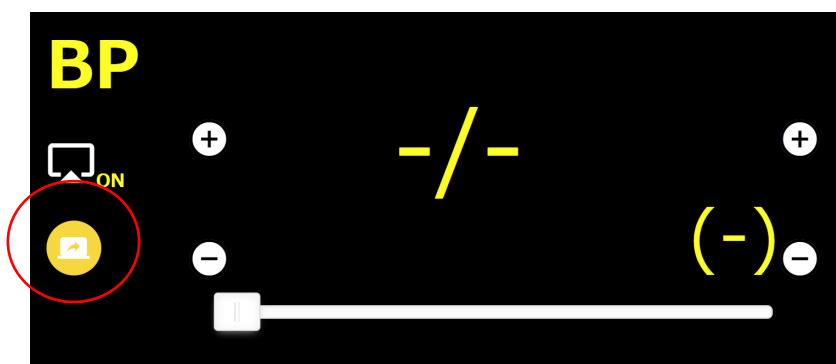
コントローラー画面にて指定する方法は次ページに記します。

(イ)コントローラー画面にて指定する方法

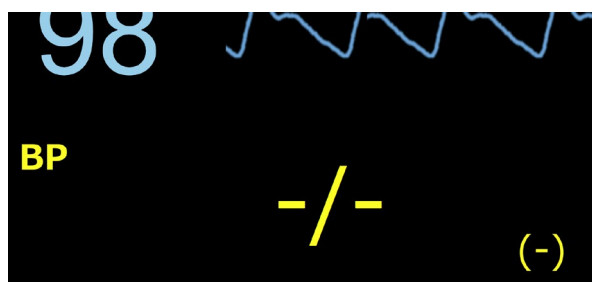
コントローラー画面にて血圧表記の数値部分(以下の例で言うと「120/80」という表示部分をクリック(タップ)すると、数値パッドが表示されます。ここで「-」を入力し、「OK」を押下ください。



以下の表記となります。



この状態で画面左端の黄色い「血圧モニター反映」ボタン(赤丸で囲ったボタン)を押下すると、モニターにも以下のように反映されます。



(9) シナリオを複製するとシナリオ内のシーンも同時に複製 (Ver.2.4.0 以降)

本機能により、既存のシナリオを複製し、複製されたシナリオを変更することで、既存のシナリオをアレンジしたようなシナリオを作成することが容易となりました。

シナリオ複製機能へのアクセスは以下の手順となります。

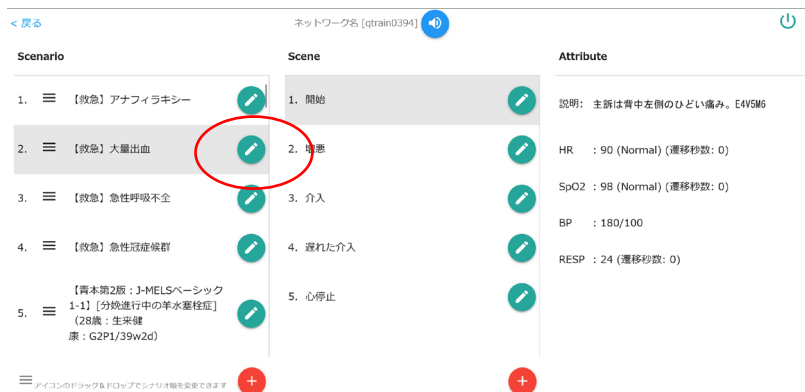
1. トップ画面での操作

「設定」⇒「シナリオ追加・編集」を選択



2. 「シナリオ追加・編集」画面での操作

(ア)複製したいシナリオ右側の鉛筆マークを選択



(イ)ポップアップ表示される画面右下の「複製」ボタンを押下



(ウ)シナリオリストの一番下に複製されたシナリオが作成されます。

